

施策評価シート

記載年月	令和4年9月
対象年度	令和3年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	015	障害者への相談支援機能の充実				
総合計画	基本目標	人と人が支え合い幸せを感じるまち（健康・福祉）			主担当部課名	福祉保健部 障害者福祉課
	基本施策	04	障害者サービスの充実			
めざす姿	障害のある人やその家族からの様々な相談に応じる相談支援体制が整っています。 また、障害のある人等のライフステージが変化しても、抱える課題の解決や適切な障害福祉サービスを利用するための案内等、必要な相談支援を途切れることなく継続して受けることができています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	42,482,000	39,969,000	35,937,000	36,018,000	36,097,000	36,733,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	3,148,000	3,148,000	2,981,000	2,982,000	2,982,000	2,983,000
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	39,334,000	36,821,000	32,956,000	33,036,000	33,115,000	33,750,000
予算現額	42,462,000	39,969,000	35,914,000	36,018,000	36,204,000	0
決算額	42,053,907	39,728,799	35,888,374	35,720,393	36,131,714	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	3,134,629	3,135,205	2,979,807	2,969,338	2,983,806	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	38,919,278	36,593,594	32,908,567	32,751,055	33,147,908	0
執行率	99.0	99.4	99.9	99.2	99.8	0.0
(人件費)						
職員数	9.85	10.30	10.48	7.49	7.42	0.00
職員人件費	75,641,403	80,895,827	84,188,275	57,995,099	57,563,315	0
月額制会計年度任用職員数	1.40	1.50	1.50	2.35	1.72	0.00
月額制会計年度任用職員人件費	4,368,560	4,672,202	4,636,385	7,436,239	5,553,398	0
(間接経費)						
間接経費	2,265,918	2,675,145	2,944,982	3,079,604	2,973,151	0
総コスト	124,329,788	127,971,972	127,658,015	104,231,335	102,221,578	0

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
障害のある人への相談支援件数	16,172	実績	18,585	16,626	15,592	13,619	13,500
	件	達成率	137.7	123.2	115.5	100.9	
指定特定相談支援事業者数	5	実績	20	18	19	18	22
	か所	達成率	90.9	81.8	86.4	81.8	
委託相談支援事業者数	-	実績	4	4	4	4	5
	か所	達成率	80.0	80.0	80.0	80.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

相談支援件数は、前年度と比べ減少しているが、方法や内容、所要時間等もあるため、ニーズが減少したとは言えない。指定特定相談支援事業者数は、制度開始当初から大幅に増えているが、本市における計画相談の事業所作成率は依然として低いため、今後も事業所及び相談支援専門員の増加を目指していく必要がある。委託相談支援事業者は平成28年度に1か所新設した。令和2年度は4センターとも訪問相談、面接相談の件数が大幅に減少した。新型コロナウイルス感染症流行により、対面での相談が制限されたためと考えられる。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている
達成できている点	相談件数は1,500件近く増加しており、相談機関としての周知が進んでいると思われる。 ちゅうファイルを配布・説明会を開催し、活用の促進を図った。	相談件数は前年に比べ減少したが、目標値は上回っている。 ちゅうファイルを配布し、活用の促進を図った。	訪問相談、面接相談は減少したが、電話相談は増加しており、相談ニーズへの対応はできていると思われる。 ちゅうファイルを配布し、活用の促進を図った。	訪問相談、面接相談、電話相談はほぼ横ばいであるが、関係機関連絡の件数が減少している。市民の相談のニーズについては対応できていると思われる。 ちゅうファイルを配布し、活用の促進を図った。
達成できていない点	相談件数は引き続き増加・複雑化しており、更なる充実に向けた取り組みが必要である。 指定特定相談支援事業者数は、制度開始当初から順調に増加しているが、計画相談の事業所作成率は依然として低いため、相談支援体制の整備をしていく必要がある。	相談内容は年々複雑化しており、更なる充実に向けた取り組みが必要である。 指定特定相談支援事業者数は、制度開始当初から順調に増加していたが、令和元年度は減少に転じた。計画相談の事業所作成率は依然として低いため、相談支援体制の整備をしていく必要がある。	訪問、面接相談ができなくなった際の障害特性・経済状況に応じた代替手段の確保は課題である。	訪問、面接相談ができなくなった際の障害特性・経済状況に応じた代替手段の確保は課題である。

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>身体・知的・精神の3障害以外にも高次脳機能障害・発達障害等への相談支援を実施しており、年々増加する相談件数にも対応してきた。また、相談支援を行う事業者間の連絡調整を行う地域生活支援センター連絡会を定期的に開催し、ネットワークづくりを図ってきた。</p> <p>さらに、困難事例に対応するために医師から助言を受け、対応方法について関係機関を交えて検討を行った。平成28年度以降は市内4か所の地域生活支援センターが事例検討会へ加わり、事例提供機関も増加。それぞれが抱える困難ケースの共有を通して各機関の役割を知ったり、支援スキルとともに高める機会となっている。</p> <p>令和2年度より、障害者福祉課における基幹相談支援センターの体制整備を開始した。</p> <p>令和2年度まで障害者等地域自立支援協議会にて、『地域生活支援拠点等』の整備に向けた検討により、相談機能の充実を含めた市の課題の抽出作業を行い、令和3年度は関係機関への趣旨説明と協力依頼を開始した。</p> <p>平成29年度に作成したちゅうファイル（府中市わたしの生涯記録ノート）の配付や説明会を開催することで、活用の促進を図った。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>新型コロナウイルス感染症流行により、対面での相談の感染リスクが問題となった一方で、障害特性や経済状況により、対面以外の相談が難しいケースもあり、障害のある方の相談手段の確保については今後も検討が必要である。</p> <p>既存社会資源について支援者側が十分に理解できておらず、機能を生かし切れしていないことがある。</p>
今後の展開
<p>障害者等地域自立支援協議会にて『地域生活支援拠点等』の機能の充実として今後も障害者の相談体制について検討を重ねていくこととなっている。</p> <p>増加する相談に対応していくため、相談員の専門性の向上、各社会資源とのネットワークの構築、困難事例への適切な対応等、質・量ともに相談支援機能のさらなる充実を図っていく。</p>

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
障害者相談支援事業	障害のある人が安心して地域生活を送ることができるよう、障害のある方やその家族への相談支援を充実する。 関係機関等において「ちゅうファイル」（支援ファイル）を活用する。	障害のある人が安心して地域生活を送ることができるよう、障害のある方やその家族への相談支援を充実する。 関係機関等において「ちゅうファイル」（支援ファイル）を活用する。	障害のある人が安心して地域生活を送ることができるよう、障害のある方やその家族への相談支援を充実する。 関係機関等において「ちゅうファイル」（支援ファイル）を活用する。	障害のある人が安心して地域生活を送ることができるよう、障害のある方やその家族への相談支援を充実する。 関係機関等において「ちゅうファイル」（支援ファイル）を活用する。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている
所管部署	福祉保健部 障害者福祉課	福祉保健部 障害者福祉課	福祉保健部 障害者福祉課	福祉保健部 障害者福祉課
事業種別	地域生活支援センターの連絡会の開催回数を増やし、更なる連携を図った。 精神障害者の家族会との連絡会を実施した。 「ちゅうファイル」の配布・説明会を実施し、関係機関等における活用を図った。	定期的に地域生活支援センターとの連絡会を実施している。 社会福祉協議会地域福祉コーディネータとの連絡会を実施した。 「ちゅうファイル」の配布を引き続き行った。	感染症流行の中でも地域生活支援センターとの連携により、相談体制の確保に努めた。	「ちゅうファイル」の使用方法等に関する説明会を行った。
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)	161,812			
障害者等地域自立支援協議会運営事業	相談支援事業をはじめとする地域の障害福祉に関するシステムづくりに関して協議する。	相談支援事業をはじめとする地域の障害福祉に関するシステムづくりに関して協議する。	相談支援事業をはじめとする地域の障害福祉に関するシステムづくりに関して協議する。	相談支援事業をはじめとする地域の障害福祉に関するシステムづくりに関して協議する。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている
所管部署	福祉保健部 障害者福祉課	福祉保健部 障害者福祉課	福祉保健部 障害者福祉課	福祉保健部 障害者福祉課
事業種別	相談支援部会、就労支援部会、児童発達支援センター部会を設け、会議へのオブザーバー招致や他自治体への視察を実施し、様々な視点から地域課題の解決について協議検討した。協議結果は答申を市長へ提出した。	相談・くらしの部会、就労支援部会を設け、会議へのオブザーバー招致や他自治体への視察を実施し、協議検討した。 また、障害者団体や関係機関等を招いた懇話会を開催し、委員以外の当事者等の意見を広く集める場を設け、地域の課題抽出と共有を行った。	相談・くらしの部会、就労支援部会を設け、様々な視点から地域課題の解決について協議検討した。協議結果は答申を市長へ提出した。	相談・くらしの部会、子ども部会を設け、様々な視点から地域課題の解決について協議検討した。 また、障害者団体や関係機関等を招いた懇話会を開催し、委員以外の当事者等の意見を広く集める場を設け、地域の課題抽出と共有を行った。
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)	3,128			
【進捗状況】				
所管部署				
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	R 3年度		R 4年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 身体障害者及び知的障害者相談員事業	30		459,000	438,246	463,000	身体障害者及び知的障害者又はその保護者の相談に応じ、また厚生のために必要な援助を行う	C	1
2 障害者相談支援事業	10		34,824,000	34,806,400	34,824,000	適切なサービスを効率的に利用できるように、障害の状況に応じた相談体制を整備する。	B	1
3 障害者等地域自立支援協議会運営事業	10		814,000	887,068	1,054,000	府中市障害者等地域自立支援協議会を運営する。	B	1
4 障害相談事務	30	○	0	0	392,000	障害者及び関係者の相談とサービス調整	A	
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			36,097,000	36,131,714	36,733,000			

施策評価シート

記載年月	令和4年9月
対象年度	令和3年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	016	障害者の社会参加支援				
総合計画	基本目標	人と人が支え合い幸せを感じるまち（健康・福祉）			主担当部課名	福祉保健部 障害者福祉課
	基本施策	04	障害者サービスの充実			
めざす姿	障害の有無にかかわらず個性と人格が尊重され、差別のない平等なまちづくりができています。また、障害が原因となってやりたいことが制限されることがなく、バリアフリーも進んでおり、積極的な社会参加が可能となっています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	140,234,000	143,454,000	139,620,000	137,920,000	133,661,000	125,290,000
国庫支出金	1,538,000	1,453,000	1,426,000	1,457,000	1,489,000	1,612,000
都支出金	16,437,000	16,568,000	17,897,000	18,736,000	17,825,000	17,375,000
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	122,259,000	125,433,000	120,297,000	117,727,000	114,347,000	106,303,000
予算現額	140,867,000	143,567,000	139,083,000	115,376,000	130,532,000	0
決算額	134,809,318	131,662,153	127,535,421	99,560,572	106,594,146	0
国庫支出金	2,155,000	1,522,000	1,474,000	372,000	619,000	0
都支出金	16,773,000	17,235,000	16,888,000	12,461,000	12,912,081	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	115,881,318	112,905,153	109,173,421	86,727,572	93,063,065	0
執行率	95.7	91.7	91.7	86.3	81.7	0.0
(人件費)						
職員数	2.37	2.34	2.33	2.28	2.28	0.00
職員人件費	18,219,005	18,374,078	18,736,766	17,618,764	17,661,472	0
月額制会計年度任用職員数	0.20	0.00	0.00	0.05	0.05	0.00
月額制会計年度任用職員人件費	624,080	0	0	158,218	161,436	0
(間接経費)						
間接経費	518,124	530,386	573,370	727,880	756,823	0
総コスト	154,170,527	150,566,617	146,845,557	118,065,434	125,173,877	0

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
障害者地域交流促進事業参加者数	2,826	実績	5,542	5,948	0	2,410	5,000
	人	達成率	110.8	119.0	0.0	48.2	
移動・移送サービス利用者数	3,980	実績	4,206	4,138	3,841	3,686	4,200
	人	達成率	100.1	98.5	91.5	87.8	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

障害者地域交流促進事業参加者数は、年度により増減幅が大きい。令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、基準値を下回った。移動・移送サービス利用者数についても、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う移動自粛のため、平成31年度の実績及び目標値を下回った。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	目標以上に進んでいる	目標以上に進んでいる	やや遅れているが、概ね順調	やや遅れているが、概ね順調
達成できている点	障害者地域交流促進事業では目標値を達成することができた。引き続き増加を目指す。	障害者地域交流促進事業では目標値を達成することができた。引き続き増加を目指す。	新型コロナウイルス感染症防止のため、障害者地域交流促進事業を中止した。	障害者地域交流促進事業は中止したのものもあるが、感染防止対策を徹底し実施した。
達成できていない点			新型コロナウイルス感染症等の状況を考慮しながら、実施方法を検討する。	新型コロナウイルス感染症等の状況を考慮しながら、実施方法を検討する。

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>障害者地域交流促進事業は、日ごろ障害のある人と接する機会のない障害のない人に、障害のある人や団体の活動に触れる機会を提供することで、障害のある人への理解を深めることに寄与している。また、障害者差別解消の推進については、障害啓発リーフレットを市内中学校の保護者に向けて配布をし、各種障害についての理解啓発および合理的配慮の促進を図った。</p> <p>障害者自立移動支援事業については、障害のある人の外出を促し、社会参加を推進するために福祉タクシー事業やガソリン費助成事業、自動車改造事業等を実施しており、一定の成果を上げている。平成28年度より所得制限を導入し、安定した事業運営を図った。</p> <p>障害者奉仕者養成事業については、手話講習会や点字講習会により、障害のある人とのコミュニケーションの円滑化と障害特性の理解促進を図っている。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>障害者地域交流促進事業である福祉啓発事業や軽スポーツ大会については、10年以上の実績があり一定以上の理解促進に寄与しているところであるが、障害者差別解消法の施行や新型コロナウイルス感染症等の状況を考慮しながら、事業内容の充実や市民への更なる周知が必要である。</p> <p>障害者自立移動支援事業については平成28年度より所得制限を導入し、安定した事業運営を図った。</p>
今後の展開
<p>今後も事業を効果的に実施できるよう、事業所や運営委員会等の関係機関との連携を強化しながら事業内容の充実を検討していく。さらに、一般市民への周知方法を工夫し、障害に関するイベントや手話・点字講習会への参加を促進することで、障害のある人とない人の双方の交流及び理解を図り、障害のある人の社会参加を支援する。</p>

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
障害者地域交流促進事業	第43回府中市みんなで楽しむ軽スポーツ大会の実施及び第11回WaiWaiフェスティバルの実施、郷土の森総合プールの無料開放の実施、精神障害等の理解促進のため、地域課題に応じた普及啓発の実施	第44回府中市みんなで楽しむ軽スポーツ大会の実施及び第12回WaiWaiフェスティバルの実施、郷土の森総合プールの無料開放の実施、精神障害等の理解促進のため、地域課題に応じた普及啓発の実施	第45回府中市みんなで楽しむ軽スポーツ大会の実施及び第13回WaiWaiフェスティバルの実施、郷土の森総合プールの無料開放の実施、精神障害等の理解促進のため、地域課題に応じた普及啓発の実施	第46回府中市みんなで楽しむ軽スポーツ大会の実施及び第14回WaiWaiフェスティバルの実施、郷土の森総合プールの無料開放の実施、精神障害等の理解促進のため、地域課題に応じた普及啓発の実施
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている
所管部署	福祉保健部 障害者福祉課	福祉保健部 障害者福祉課	福祉保健部 障害者福祉課	福祉保健部 障害者福祉課
事業種別	軽スポーツ大会等の実施により、地域交流の促進に寄与できた。今後とも引き続き、障害に対する意識啓発を行うために、より多くの一般市民へ周知できるようにする必要がある。	軽スポーツ大会等の実施により、地域交流の促進に寄与できた。今後とも引き続き、障害に対する意識啓発を行うために、より多くの一般市民へ周知できるようにする必要がある。	交流事業、啓発のための講座等は新型コロナウイルス感染症流行のため、実施できなかった。啓発のリーフレットについては作成し、配布した。事業の実施方法については今後工夫が必要である。	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催規模を縮小したが、地域交流の促進に寄与できた。今後とも引き続き、障害に対する意識啓発を行うために、より多くの一般市民へ周知できるようにする必要がある。
4か年事業費計(単位:千円)	17,512			
障害者自立移動支援事業	福祉タクシー券の発行及び自動車運転教習費、自動車改造費の助成、ガソリン等費用の助成を行う。	福祉タクシー券の発行及び自動車運転教習費、自動車改造費の助成、ガソリン等費用の助成を行う。	福祉タクシー券の発行及び自動車運転教習費、自動車改造費の助成、ガソリン等費用の助成を行う。	福祉タクシー券の発行及び自動車運転教習費、自動車改造費の助成、ガソリン等費用の助成を行う。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている
所管部署	福祉保健部 障害者福祉課	福祉保健部 障害者福祉課	福祉保健部 障害者福祉課	福祉保健部 障害者福祉課
事業種別	障害のある人の外出を促進し、社会参加を促進できた。	障害のある人の外出を促進し、社会参加を促進できた。	障害のある人の外出を促進し、社会参加を促進できた。	障害のある人の外出を促進し、社会参加を促進できた。
4か年事業費計(単位:千円)	520,204			
障害者奉仕者養成事業	障害のある人に対する理解を深め、技術の向上とボランティア精神を養うとともに将来の点訳奉仕者及び手話通訳者を養成する。	障害のある人に対する理解を深め、技術の向上とボランティア精神を養うとともに将来の点訳奉仕者及び手話通訳者を養成する。	障害のある人に対する理解を深め、技術の向上とボランティア精神を養うとともに将来の点訳奉仕者及び手話通訳者を養成する。	障害のある人に対する理解を深め、技術の向上とボランティア精神を養うとともに将来の点訳奉仕者及び手話通訳者を養成する。
【進捗状況】	やや遅れているが、概ね順調	やや遅れているが、概ね順調	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい	やや遅れているが、概ね順調
所管部署	福祉保健部 障害者福祉課	福祉保健部 障害者福祉課	福祉保健部 障害者福祉課	福祉保健部 障害者福祉課
事業種別	障害のある人のコミュニケーション促進に寄与する手話・点字の講習会を実施した。手話・点字講習会とともに、広報等を工夫することで受講者数を増やしていく必要がある。	障害のある人のコミュニケーション促進に寄与する手話・点字の講習会を実施した。実施方法や周知方法を検討しつつ、受講生の増加を図る。	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、例年開講している講習会の大半が中止となった。今後、受講形態の在り方を検討する必要がある。	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、開講時期に遅れが生じている。感染防止対策を引き続き実施する。
4か年事業費計(単位:千円)	20,908			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	R 3年度		R 4年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 障害者地域交流促進事業	30		4,619,000	1,589,933	4,227,000	軽スポーツ大会、WaiWaiフェスティバルの運営（委託）、プール開放の実施等	B	1
2 障害者自立移動支援事業	30		124,047,000	102,991,603	117,139,000	障害者の移動に関わる費用の一部を助成する。	B	1
3 障害者奉仕者養成事業	10		4,995,000	2,012,610	3,924,000	点訳奉仕員・手話通訳者となるべき人材の育成のための講習会の実施。	B	1
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			133,661,000	106,594,146	125,290,000			

施策評価シート

記載年月	令和4年9月
対象年度	令和3年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	017	障害者の就労支援				
総合計画	基本目標	人と人が支え合い幸せを感じるまち（健康・福祉）			主担当部課名	福祉保健部 障害者福祉課
	基本施策	04	障害者サービスの充実			
めざす姿	障害のある人も、障害のない人と同じ社会の一員として、安心して働き続けることができ、自立して生活することができています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	55,017,000	54,918,000	53,478,000	61,465,000	63,247,000	63,118,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	13,891,000	13,842,000	13,812,000	17,290,000	16,284,000	16,243,000
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	41,126,000	41,076,000	39,666,000	44,175,000	46,963,000	46,875,000
予算現額	55,017,000	54,918,000	53,478,000	61,465,000	63,247,000	0
決算額	53,953,063	53,405,078	51,145,442	54,766,308	59,120,994	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	10,639,000	13,013,000	10,562,500	15,109,000	16,393,053	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	43,314,063	40,392,078	40,582,942	39,657,308	42,727,941	0
執行率	98.1	97.2	95.6	89.1	93.5	0.0
(人件費)						
職員数	0.53	0.53	0.63	0.63	0.47	0.00
職員人件費	4,066,742	4,157,031	5,086,905	4,894,101	3,679,473	0
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0	0	0	0
(間接経費)						
間接経費	106,657	119,996	155,665	197,844	154,281	0
総コスト	58,126,462	57,682,105	56,388,012	59,858,253	62,954,748	0

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
障害者就労支援事業による一般就労への移行者人数	20	実績	10	14	8	15	33
	人	達成率	30.3	42.4	24.2	45.5	
就労移行支援事業等の利用者数	408	実績	715	784	817	868	780
	人	達成率	91.7	100.5	104.7	111.3	
就労定着支援事業の職場定着率	-	実績	-	89	92	100	80
	%	達成率	0.0	111.3	115.0	125.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

障害者就労支援事業のみを利用した新規就職者は前年度を下回った一方で、就労移行支援事業の利用者数は年々増えており、障害者就労支援事業のニーズが定着支援に移行しているものと思われる。
就労定着支援事業の職場定着率については、当該事業を利用した人が支援開始1年後に同じ職場で働いている割合を示すものであり、当該事業は平成30年度より開始したことから、実績値は令和元年度以降算出しているが、職場定着率は目標値を上回って推移している。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	やや遅れているが、概ね順調	目標達成に向け順調に進ちょくしている	やや遅れているが、概ね順調	やや遅れているが、概ね順調
達成できている点	市役所内での就労実習を引き続き実施し、希望者の受け入れを行った。障害者就労支援事業連絡会において、障害者と企業とのマッチングを目的として、就労支援機関と企業による障害者雇用相談会を開催した。	市役所内での就労実習を引き続き実施し、希望者の受け入れを行った。障害者就労支援事業連絡会において、障害者と企業とのマッチングを目的として、就労支援機関と企業による障害者雇用相談会を開催した。就労定着支援事業を利用した職場定着率は目標値を上回った。	増加する相談件数に対応するため、就労支援センターの人員体制の拡充を行った。就労定着支援事業を利用した職場定着率は昨年度に引き続き、目標値を上回っている。	障害者雇用相談会をオンラインで開催できた。就労定着支援事業を利用した職場定着率は昨年度に引き続き、目標値を上回っている。
達成できていない点	雇用情勢の改善は進んでいるが、新規就労者数は微減となった。精神障害者の就職後の離職率は依然として高いため、職場定着率をあげるために高いため、職場定着率をあげるためにも引き続き安定した支援が必要であるが、人手不足により必要な支援が行えていない。	精神障害者の就職後の離職率は依然として高いため、職場定着率をあげるためにも引き続き安定した支援が必要であるが、人手不足により必要な支援が行えていない。	コロナ禍のため、例年実施していた庁内実習及び府中市障害者就労支援機関連絡会による障害者雇用相談会が中止となった。	作業所のカタログを作成し自主製品のPRを行った一方で、コロナにより販売会は中止となった。

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
平成27年度より府中市就労支援事業連絡会を立ち上げ、市関係機関及び事業者等と障害者就労に関する情報共有及び意見交換を図っている。令和元年度には、障害のある人と企業のマッチングに寄与することを目指し、障害者雇用相談会を障害者就労支援事業連絡会の主催で開催した。福祉的就労を行う方々の就労意欲および工賃の向上を目的とし、作業所等経営ネットワーク支援事業を実施した。共同販売会や共同受注等の実施により、工賃の向上に結びついた。また、東京都からの大口受注等を近隣市と受けることも工賃の向上に結びついた。就労支援センターにおける相談件数が増加傾向にあり、一人ひとりに対する適切な支援を行うため令和2年度より支援員の拡充により支援体制を強化した。
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
企業に対する障害者雇用へのアプローチや新規開拓に力を入れて行かなくてはならないと同時に、就職後、離職してしまう人へのサポートも重要になってくる。また、福祉的就労を行っている人への一般就労への動機づけや意識改革などの専門的な支援も必要とされる。就労支援は就職後も継続して支援していく必要があり、就職できたとしても支援量が減少するわけではないため、今後も就職希望者、既就職者への支援の質を維持する必要がある。
今後の展開
障害者雇用促進法の改正、国や都の施策による障害のある人の雇用に対する事業や企業のCSRの情勢等、障害のある人の雇用についての制度的な改善が見られ、昨今の雇用情勢が改善されていることから需要も増えていくことが見込まれる。引き続き、障害のある人が安心して職業生活を続けられるために不安や悩みを解消するためのカウンセリングや対人関係に関わる相談・調整を行っていく。また、就労定着支援事業の開始や、就労移行支援事業所の数も増えている中で、就労支援センターに求められる支援内容に応じた体制構築を検討していく。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
障害者就労支援事業	就労相談を通して、一人ひとりの状態や日常生活に合わせた総合的な支援を行うとともに、就労した後の職場への定着を支援する。	就労相談を通して、一人ひとりの状態や日常生活に合わせた総合的な支援を行うとともに、就労した後の職場への定着を支援する。	就労相談を通して、一人ひとりの状態や日常生活に合わせた総合的な支援を行うとともに、就労した後の職場への定着を支援する。	就労相談を通して、一人ひとりの状態や日常生活に合わせた総合的な支援を行うとともに、就労した後の職場への定着を支援する。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている
所管部署	-----			
福祉保健部 障害者福祉課				
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
103,352				
【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	R 3年度		R 4年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 障害者就労支援事業	30		35,216,000	31,501,654	35,216,000	障害者の一般就労を促進するため、総合的な支援を行う	B	1
2 作業所等経営ネットワーク支援事業	30		1,614,000	1,285,098	1,533,000	作業所等における経営ネットワークの構築を図る。	B	1
3 障害者作業委託事業	30		26,417,000	26,334,242	26,369,000	障害者施設に作業を委託し、施設通所者の社会参加及び社会的自立を促進する	B	1
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			63,247,000	59,120,994	63,118,000			

施策評価シート

記載年月	令和4年9月
対象年度	令和3年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	018	障害者の地域生活支援				
総合計画	基本目標	人と人との支え合い幸せを感じるまち（健康・福祉）			主担当部課名	福祉保健部 障害者福祉課
	基本施策	04	障害者サービスの充実			
めざす姿	障害のある人が日常生活を送る上で不便を感じることはないような社会基盤が形成され、多様なニーズに対応したサービスが充実しており、障害のある人もない人も、本人が希望する地域で、安心して快適な生活を送っています。また、災害発生時にも障害のある人等が、必要な福祉的支援を受けることができています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	7,656,827,000	8,122,481,000	8,350,581,000	8,729,970,000	9,098,253,000	10,124,609,000
国庫支出金	2,699,999,000	2,975,316,000	3,088,560,000	3,257,607,000	3,428,701,000	3,584,572,000
都支出金	2,319,694,000	2,380,259,000	2,447,710,000	2,535,422,000	2,621,884,000	2,839,168,000
市債	0	0	0	0	0	359,600,000
その他	137,000	5,321,000	11,721,000	25,021,000	98,715,000	119,421,000
一般財源	2,636,997,000	2,761,585,000	2,802,590,000	2,911,920,000	2,948,953,000	3,221,848,000
予算現額	7,909,356,000	8,176,212,000	8,471,917,000	8,970,435,000	9,511,659,000	0
決算額	7,767,347,956	8,028,436,317	8,394,820,911	8,827,133,108	9,343,020,472	0
国庫支出金	2,792,421,860	2,939,618,306	3,129,731,644	3,281,904,991	3,499,471,940	0
都支出金	2,326,479,151	2,370,712,534	2,416,191,998	2,527,615,400	2,688,736,759	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	47,400	25,800	8,131,800	800,000	301,200	0
一般財源	2,648,399,545	2,718,079,677	2,840,765,469	3,016,812,717	3,154,510,573	0
執行率	98.2	98.2	99.1	98.4	98.2	0.0
(人件費)						
職員数	23.25	22.83	24.55	28.60	28.83	0.00
職員人件費	178,611,314	179,251,184	197,202,344	221,294,940	223,630,207	0
月額制会計年度任用職員数	2.40	1.50	1.50	2.60	2.23	0.00
月額制会計年度任用職員人件費	7,488,960	4,672,202	4,636,385	8,227,328	7,200,046	0
(間接経費)						
間接経費	5,167,972	5,514,256	6,403,355	9,759,215	10,102,399	0
総コスト	7,958,616,202	8,217,873,959	8,603,062,995	9,066,414,591	9,583,953,123	0

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
福祉施設から地域生活へ移行した障害者の人数	2	実績	0	1	0	0	4
	人	達成率	0.0	25.0	0.0	0.0	
障害者の福祉施設入居者数	140	実績	158	159	154	156	138
	人	達成率	87.3	86.8	89.6	88.5	
市内のグループホームの定員数	114	実績	188	204	215	216	200
	人分	達成率	94.0	102.0	107.5	108.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

障害のある人が希望する地域で安心して生活が送れるよう、福祉施設入居者数の削減を掲げているが、家族や支援者のいない重度の障害のある人が地域で生活するには社会システムの形成が充分とは言えず、目標値を達成することができなかった。地域生活の基盤の一つとなるグループホームの定員数は、グループホームの新設により増加している。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	やや遅れているが、概ね順調	やや遅れているが、概ね順調	やや遅れているが、概ね順調	やや遅れているが、概ね順調
達成できている点	市内のグループホームの定員数は増加しており、目標値を達成することができた。	市内のグループホームの定員数は増加しており、目標値を達成することができた。	市内のグループホームの定員数は増加しており、目標値を達成することができた。	市内のグループホームの定員数は増加しており、目標値を達成することができた。
達成できていない点	福祉施設への入居者数は減少に至っていない。地域生活へ移行するための社会システムの形成は、今後も充実させる必要がある。福祉施設から地域生活へ移行は、課題も多く現状達成できていない。	福祉施設への入居者数は減少に至っていない。地域生活へ移行するための社会システムの形成は、今後も充実させる必要がある。福祉施設から地域生活へ移行は、課題も多く現状達成できていない。	福祉施設への入居者数は多少減少したものの、目標値には至っていない。地域生活へ移行するための社会システムの形成は、今後も充実させる必要がある。福祉施設から地域生活へ移行は、課題も多く現状達成できていない。	福祉施設への入居者数は減少に至っていない。地域生活へ移行するための社会システムの形成は、今後も充実させる必要がある。福祉施設から地域生活へ移行は、課題も多く現状達成できていない。

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>障害のある人が地域で安心して生活が送れるよう、自立支援給付等事業、地域生活支援事業、日常生活支援等事業や障害者医療助成等事業など、障害のある人のニーズに合わせて多くの事業を展開しており、多種多様なニーズに対応できていると思われる。令和2年度においては、障害者計画、障害福祉計画（第6期）・障害児福祉計画（第2期）策定に向け検討した素案の答申を受けた。平成30年度には、重症心身障害児（者）在宅レスパイト事業の対象を拡大し、医療的ケア児にも同様の支援を行えるようにした（「重症心身障害児（者）・医療的ケア児在宅レスパイト事業」に改称）ほか、指導員や心理士を増員し、発達の遅れなどがある通園児や未就学児に対する相談支援体制の強化を図った。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>障害のある人のニーズは多種多様、広範囲にわたるため、今後はより増えていくと思われる様々なニーズに対して、もっとも行政が行うことが適切である事業を実施し、サービスを提供することで効果をあげていく必要がある。地域で安心して生活ができるよう、障害のある子どもの通所施設や障害のある人の日中活動の場の確保、親亡き後の支援体制の充実など、ライフステージに応じた支援の拡充が今後の課題である。</p>
今後の展開
<p>当事者や市民の参加する障害者等地域自立支援協議会等を通して、市内における障害のある人のニーズや行政主体で行っていく必要が高いサービスを抽出し、今後の施策の展開の参考とする。また、市内のグループホームの定員数については、利用者数の増加傾向に対応するため整備を図っていく。</p>

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
自立支援給付等事業	障害のある人が社会生活を営む上で必要とする介護サービス、心身の機能回復訓練、就労の為に技能習得訓練等のサービスや、障害を軽減するための医療及び補装具費等について、必要な給付を行い、生活の安定を図るとともに自立を支援する。	障害のある人が社会生活を営む上で必要とする介護サービス、心身の機能回復訓練、就労の為に技能習得訓練等のサービスや、障害を軽減するための医療及び補装具費等について、必要な給付を行い、生活の安定を図るとともに自立を支援する。	障害のある人が社会生活を営む上で必要とする介護サービス、心身の機能回復訓練、就労の為に技能習得訓練等のサービスや、障害を軽減するための医療及び補装具費等について、必要な給付を行い、生活の安定を図るとともに自立を支援する。	障害のある人が社会生活を営む上で必要とする介護サービス、心身の機能回復訓練、就労の為に技能習得訓練等のサービスや、障害を軽減するための医療及び補装具費等について、必要な給付を行い、生活の安定を図るとともに自立を支援する。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている
所管部署	福祉保健部 障害者福祉課			
事業種別	福祉保健部 障害者福祉課			
主要な事務事業	福祉保健部 障害者福祉課			
4か年事業費計(単位:千円)	福祉保健部 障害者福祉課			
	28,886,717			
地域生活支援事業	障害者総合支援法に基づいた地域生活支援事業として、手話通訳者・要約筆記者の派遣、外出のための支援、日常生活用具の給付等を行い、障害のある人の地域生活・社会生活を支援する。	障害者総合支援法に基づいた地域生活支援事業として、手話通訳者・要約筆記者の派遣、外出のための支援、日常生活用具の給付等を行い、障害のある人の地域生活・社会生活を支援する。	障害者総合支援法に基づいた地域生活支援事業として、手話通訳者・要約筆記者の派遣、外出のための支援、日常生活用具の給付等を行い、障害のある人の地域生活・社会生活を支援する。	障害者総合支援法に基づいた地域生活支援事業として、手話通訳者・要約筆記者の派遣、外出のための支援、日常生活用具の給付等を行い、障害のある人の地域生活・社会生活を支援する。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている
所管部署	福祉保健部 障害者福祉課			
事業種別	福祉保健部 障害者福祉課			
主要な事務事業	福祉保健部 障害者福祉課			
4か年事業費計(単位:千円)	福祉保健部 障害者福祉課			
	1,290,334			
児童発達支援事業	福祉型の児童発達支援センターの整備に向けて、府中市障害者等地域自立支援協議会での検討結果を踏まえ早期療育・早期支援のあり方などについて、協議・検討を進める。	児童発達支援センターの整備に関する基本計画を作成する中で、提供するサービス内容や施設が持つ機能を明らかにする。また、民間活力導入可能性調査を実施することにより、民間資金や能力の活用を図る。	基本計画を策定する。策定した基本計画に基づき、児童発達支援センターの整備を進めると同時に、施設整備の進行管理を行なう。	策定した基本計画に基づき、児童発達支援センターの整備を進めると同時に、施設整備の進行管理を行なう。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている
所管部署	福祉保健部 障害者福祉課			
事業種別	福祉保健部 障害者福祉課			
主要な事務事業	福祉保健部 障害者福祉課			
4か年事業費計(単位:千円)	福祉保健部 障害者福祉課			
	48,000			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	R 3年度		R 4年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 障害者手当等支給事業	20		897,493,000	894,033,130	905,648,000	障害者手当等を支給することにより、福祉の向上を図る。	B	1
2 障害認定審査事業	10		11,859,000	11,173,274	12,117,000	障害支援区分認定における一連の事務	B	3
3 自立支援給付等事業	20		6,951,295,000	7,259,530,391	7,467,655,000	介護・訓練等サービス、障害児通所サービス、医療、補装具等について必要な給付を行う	B	1
4 地域生活支援事業	20		274,833,000	258,261,074	278,532,000	障害者等が地域において生活できるよう支援する	B	1
5 日常生活支援等事業	30		55,463,000	50,084,324	55,015,000	障害者の日常生活及び経済支援	B	1
6 各種手帳交付等事業	30		5,082,000	5,953,800	5,385,000	手帳取得のために支払われた診断料を5000円を限度として助成する。	B	1
7 障害者災害時対策事業	30		1,396,000	555,466	143,000	重度障害者等に対する災害対策や避難支援を図るほか、ヘルプカードを作成する。	A	
8 障害者計画推進協議会運営事業	30		549,000	544,368	4,019,000	府中市障害者計画推進協議会を運営する。	B	1
9 障害者福祉団体財政支援事業	30		411,308,000	409,146,208	425,697,000	対象施設に対して、事業に要する経費について補助金を交付する。	B	3
10 障害者医療助成等事業	30		5,267,000	4,826,384	5,007,000	医療費の一部を助成し、障害者保健の向上に寄与するとともに、障害者福祉の増進を図る。	B	1
11 心身障害者福祉センター管理運営事業	20		390,889,000	364,558,075	411,043,000	障害者に対して各種の福祉サービスを提供する	B	1
12 児童発達支援事業	30		92,819,000	84,353,978	554,348,000	発達に遅れのある幼稚園・保育園の通園児や未就園児とその保護者、保育所等の職員に対する支援を	A	
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			9,098,253,000	9,343,020,472	10,124,609,000			